



川口市立在家中中学校 川口市大字安行領在家272番地  
048(295)4102 FAX 048(295)5661  
URL <http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/zaike-j/>



・心身ともにたくましい生徒  
・自ら進んで学ぶ生徒  
・豊かな情操を培う生徒

## サウイフコトガ 『フツー』デ アリタイ

(そういうことが『普通』で ありたい)

校長 鈴木 玲

雨ニモマケズ 風ニモマケズ

雪ニモ 夏ノ暑サニモマケヌ

丈夫ナカラダヲモチ 慾ハナク

決シテ瞋ラス イツモシツカニワラツテキル

一日ニ玄米四合ト味噌ト少シノ野菜ヲタベ

アラユルコトヲ ジブンヲカンジョウニ入レズニ

ヨク ミキキシ ワカリ ソシテ ワスレズ

野原ノ松ノ林ノ蔭ノ小サナ萱ヅキノ小屋ニキテ

東ニ病氣ノ コドモアレバ 行ッテ看病シテヤリ

西ニツカレタ母アレバ 行ッテソノ稲ノ束ヲ負ヒ

南ニ死ニサウナ人アレバ

行ッテ ヲハガラナクテモイヽトイヒ

北ニケンカヤソシヨウガアレバ

ツマラナイカラ ヤメロトイヒ

ヒテリノトキハ ナミダヲ ナガシ

サムサノ ナツハ オロオロアルキ

ミンナニデクノボートヨバレ

ホメラレモセズ クニモサレズ

サウイフモノニ ワタシハ ナリタイ

宮沢賢治

今回ここに載せたのは、有名な宮沢賢治の『雨ニモマケズ』です。私が子供のころには暗唱したものでした。生徒のみなさんは、小学校で学習する『やまなし』の作者として宮沢賢治の名前は知っていても、この『雨ニモマケズ』の全文を目にする機会はなかったかもしれません。これは詩として作られたものではなく、宮沢賢治という一人の人間そのものとしての思いを書き連ねられたものだと言われています。最後の一行には〈そういう者に 私は なりたい〉とあり、賢治の理想とする人間像が記されていることがわかります。「どれほど高い理想か?」と思いきや、終わりから2行目にあるとおりの〈褒められもせず、苦にもされず〉、つまり賞賛も批判もされない、特別ではない「フツー」(あえて「普通」と漢字表記しません)の人物なのです。

時代が変われば「フツー」も変化し、環境が違えば「フツー」も多様化するのとは当然です。しかし、ここに描かれている人物像は本当に褒められることも批判されることもないような人なのでしょうか(これを「学びの共同体」として国語の授業で扱ったら面白いかもしれないと思いましたが、私の考えを述べ続けます。ただし、私の解釈が正しいとは限りません。)自分を勘定に入れず(損得を考えず)、他人のためだけを思い東奔西走することは「フツー」のことなのでしょうか? 農業をする上で深刻な干ばつや冷夏。どうすることもできない自分を嘆いて涙を流したりオロオロと歩き回ったりする姿は「フツー」なのでしょうか? 「よく見聞きし 理解し 忘れない」という学び、そして「丈夫な体」であること。これだけでも十分と言えます。賢治の考える「フツー」は、本当は高い理想だったのかもしれませんが。

みなさんは夏休み中に学習や部活動、生活上の目標などを新たにしたことでしょう。特に3年生は進路について明確な目標を立てたはず。〈そういう者に 私は なりたい〉。その目標・理想に近づくために、みなさんは2学期以降、何をすべきでしょうか? そして、その行動や努力を特別なことと思わず、「フツーのことだし…」と言えるようになると格好いですよね。